

東京都立葛飾総合高等学校 平成30年度 工芸 I 年間授業計画

教科：（芸術科）科目：（工芸 I）対象：（第 1 学年A組～F組）

教科担当者：（A組：吉村◎）（B組：吉村◎）（C組：吉村◎）（D組：吉村◎）（E組：吉村◎）（F組：吉村◎）

使用教科書：工芸 I（日本文教出版）

使用教材：木材・布・真鍮板・皮

指導内容 【年間授業計画】	工芸 I の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	予定時数
○工芸 I 授業の注意 ○オリエンテーション 教科書P2～5 P18～19 ①生活の中の工芸 ②「工芸」が関わる職業 ③暮らしのかたち ④機能と造形	○授業を受講する上でのマナー（校訓：時・場・礼に基づく）、教室利用上の注意点を徹底させる。 ○①工芸と生活の関わりについて見識を広げる。②工芸が関わる職業について、工芸作家とデザイナーの違いについてを理解させる。 ○③国や地域による文化や取れる素材の違いで工芸が独自の発展をとげてきたことを理解させる。 ○④道具の造形において、本来の目的は物の外観を美しく飾ることではなく、ものの働き（機能）をつくることにあることを理解させる。	授業態度 プリント記入状況	2
○美しい造形へ 一美の秩序について 教科書P8・9 構成練習	○人が「美しい」と思う数理的な造形秩序であるに基づいた構成原理を理解し、実践できるようになる。	構成練習の完成度	2
4月 ●木の透かし彫りコースター・消しゴムはんこのラン チョンマット 課題提示 ○道具箱の使い方 ○コースターの制作手順 切り紙	○木を素材とした作品を制作することで、木材の基礎的な加工後術を学び、習得する。 ○2種類の木材でコースターを制作することで、木材は種類によって色・木目・硬さが違うことを理解させる。 ○デザインにおいてに構成原理（シンメトリー）の知識がどのように役立つか理解し、実践できるようになる。 ○作品制作において道具の管理が重要であることを理解させる。	授業態度 作品制作状況	2
5月 ●木の透かし彫りコースター・消しゴムはんこのラン チョンマット ○コースターの制作手順 工具の使い方	○正しい工具の使い方を理解し、安全に配慮した制作をできるようになる。	授業態度 作品制作状況	2
●木の透かし彫りコースター・消しゴムはんこのラン チョンマット ○ランチョンマットの制作手順 消しゴムはんこを彫る	○消しゴムはんこを用いたテキスタイルデザインの基本的な技術を学び習得する。 ○デザインにおいてに構成原理（レベティション・ユニット式構成）の知識がどのように役立つか理解し、実践できるようになる。	授業態度 作品制作状況	2
●木の透かし彫りコースター・消しゴムはんこのラン チョンマット ○コースターの制作手順 やすりについて	○正しい工具の使い方を理解し、安全に配慮した制作をできるようになる。	授業態度 作品制作状況	2
●木の透かし彫りコースター・消しゴムはんこのラン チョンマット ○ランチョンマットの制作手順 ユニットの考える	○はんこの組み合わせ次第で様々なパターンに発展させることができることを理解し、実践できるようになる。	授業態度 作品制作状況	2
6月 ●木の透かし彫りコースター・消しゴムはんこのラン チョンマット ○ランチョンマットの制作手順 レベティションを考 える	○ユニットやレベティションの組み合わせ次第で様々なパターンに発展させることができることを理解し、実践できるようになる。	授業態度 作品制作状況	2
●木の透かし彫りコースター・消しゴムはんこのラン チョンマット	○今までの手順の説明とプリントを手立てに自主的に作品制作を進められるようになる。	授業態度 作品制作状況	6
7月 ●木の透かし彫りコースター・消しゴムはんこのラン チョンマット ○コースターの制作手順 塗装	○食器の塗装についての知識を身につける。作品の用途に相応しい塗装方法を選択できるようになる。	授業態度 作品制作状況	2
●木の透かし彫りコースター・消しゴムはんこのラン チョンマット ○鑑賞	○他者の作品を鑑賞し、比較することで、自分の作品の良い部分・うまくいかなかった部分を振り返り、次回の制作に生かす。	まとめプリント記入状況 作品完成度	2
9月 ●エンボス加工レザーのアコーディオンミニ財布 課題 提示 ○タイリング（平面充填）を用い、 エンボスのデザインを考える	○皮を素材とした作品を制作することで、皮の基礎的な加工後術を学び、習得する。 ○エンボス加工は、様々な素材において加飾に使われていることを理解する。 ○構成原理であるタイリング（平面充填）を利用したデザインが生み出す安定感を理解し、実践できるようになる。	授業態度 作品制作状況	2
●エンボス加工レザーのアコーディオンミニ財布 ○ボール紙でエンボスの版を作る	○版の完成度がそのまま皮に反映されてしまうことを理解させ、丁寧な作業をさせる。	授業態度 作品制作状況	2

	指導内容 【年間授業計画】	工芸Ⅰの具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	予定時数
10月	●エンボス加工レーザーのアコーディオンミニ財布 ○ボール紙でエンボスの版を作る	○版の完成度がそのまま皮に反映されてしまうことを理解させ、丁寧な作業をさせる。	授業態度 作品制作状況	4
	●エンボス加工レーザーのアコーディオンミニ財布 ○プレス機で刷る	○正しいプレス機の使い方を理解し、安全に配慮した制作をできるようになる。	授業態度 作品制作状況	2
11月	●エンボス加工レーザーのアコーディオンミニ財布 ○財布の形にカットする	○切り口が美しく仕上がるよう丁寧な作業を心がけさせる。	授業態度 作品制作状況	2
	●エンボス加工レーザーのアコーディオンミニ財布 ○革を染める	○ムラなく美しく染色できるよう心がけさせる。	授業態度 作品制作状況	2
12月	●エンボス加工レーザーのアコーディオンミニ財布 ○ハトメ・パネホックで固定する		授業態度 作品制作状況	2
	●エンボス加工レーザーのアコーディオンミニ財布	○他者の作品を鑑賞し、比較することで、自分の作品の良い部分・うまくいかなかった部分を振り返り、次年度の制作に生かす。	まとめプリント記入状況 作品完成度	2
1月	●真鍮のクリップ 課題提示 ○自然物をモチーフにデザインを考える	○金属（真鍮）を素材とした作品を制作することで、金属の基礎的な加工技術を学び、習得する。 ○自然のモチーフを幾何学的にデザインすることで、数理的な造形秩序が視覚的に安定感をもたらすことを理解し実践する。 ○サンプルのクリップを鑑賞し、様々なタイプのクリップがあることを知り、自身の作品制作に生かせるようになる。	授業態度 作品制作状況	2
	●真鍮のクリップ ○真鍮の切り方	○糸鋸、すり板の使い方を理解し安全に配慮した制作をできるようになる。 ○刃が切れないよう糸のこを動かせるようになる。	授業態度 作品制作状況	4
2月	●真鍮のクリップ ○真鍮の切り方	○糸鋸、すり板の使い方を理解し安全に配慮した制作をできるようになる。 ○刃が切れないよう糸のこを動かせるようになる。	授業態度 作品制作状況	4
	●真鍮のクリップ ○真鍮の磨き方	○やすりの正しい使い方を復習し、理解を一層深める。	授業態度 作品制作状況	4
3月	●真鍮のクリップ ○真鍮の磨き方	○今までの手順の説明とプリントを手立てに自主的に作品制作を進められるようになる。	授業態度 作品制作状況	2
	●真鍮のクリップ	○他者の作品を鑑賞し、比較することで、自分の作品の良い部分・うまくいかなかった部分を振り返り、次年度の制作に生かす。	まとめプリント記入状況 作品完成度	2